

ちょうしづか新聞 第35号

国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳整備事業に伴う試掘調査速報

発行日:2005年2月4日(金曜日) 発行:山梨県埋蔵文化財センター資料普及課資料第2担当

えー！「木製樹物(もくせい たてもの)」の軸棒は... なんと！長さ2.4mもあったのー！

第10号トレンチの南側拡張調査区で見つかった「木の埴輪」とも呼ばれる「木製樹物(もくせい たてもの)」については、第27号で出土状況をお伝えし、第30号で復元案をご紹介しました。今回は取り上げ後の簡易クリーニング作業を終えた長い「棒状木製品」についての続報をお伝えしましょう！

棒状木製品の出土状況



今回、ご紹介するのは第10号トレンチの南側拡張区から見つかった棒状木製品のうちの3点だよ。

- 10T- ...長さ160cm、太さ3cmの棒状木製品
下端が鉛筆状に尖らせてあるよ。
- 10T- ...長さ35cm、太さ3cmの棒状木製品
上端に「ホゾ」加工があるよ。
- 10T- ...長さ45cm、太さ3cmの棒状木製品
との間かな？

この3点は出土した段階から「どうやらつながるかも知れないな - 」と思っていた3点なんだ。には下端が残っているし、には上端が残っているから、つながると使われていた当時の棒の長さが



上端のホゾは約2cmの方形に加工されている

棒状木製品の表面は焼け焦げている

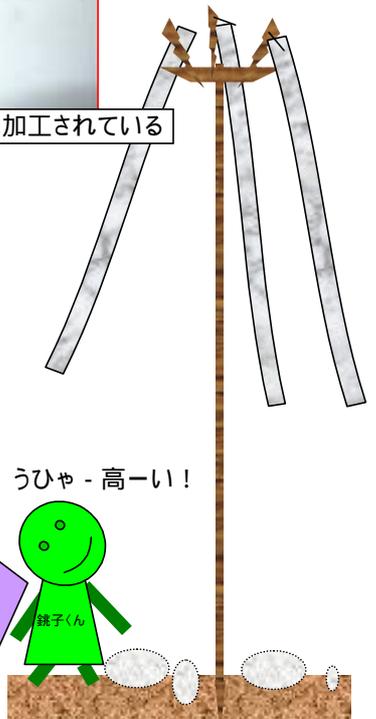
下端は丁寧に鉛筆状に尖らせてある

折れた部分を丁寧にクリーニングしたら、このようにつながることが確認できたんだ。**全長2.4m、太さ3cmの円柱状の棒である**ことがわかったよ。

ついでにいろいろ観察してみたよ。
上端のホゾは約2cmの方形に加工されているよ。2cm方形は一緒にできた円盤状製品()の中央の穴とほぼ同じのさ！

棒状木製品の表面はとこどころ焼け焦げているよ、特に上端から35cmくらいの部分はやせ細るほど著しく焼けているんだ。なんでだろうねー。

下端は丁寧に鉛筆状に尖らせてあるよ。金属器で削ったみたいだね。



うひゃ - 高ーい！

軸棒の全体像がわかったので、円盤などと合わせると全長2.6mくらいはあったことが判明！

【連絡先】山梨県埋蔵文化財センター 資料普及課資料第2担当(森原・森屋)
〒400 1508 山梨県東八代郡中道町下曾根923 電話055 266 3016 ファックス055 266 3882
e-mail morihara-thb@pref.yamanashi.lg.jp

この「ちょうしづか新聞」は「山梨県埋蔵文化財センター」のホームページでも公開中です。YAHOOでも検索可能です。

URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/maizou-bnk/index.htm>